

第11回 慢性期リハビリ テーション学会

第31回日本慢性期医療学会

超少子高齢化時代と慢性期医療
～Well Beingを目指した予防という役割～

会期 2023年10月19日(木)～20日(金)

会場 大阪国際会議場

学会長 木戸 保秀 松山リハビリテーション病院
理事長

併催

第11回 慢性期リハビリテーション学会

学会長:木下 祐介(光風園病院 院長)

日本介護医療院協会セミナー

会長:鈴木 龍太(鶴巻温泉病院 理事長)

地域病病連携推進機構シンポジウム

理事長:上西 紀夫(公立昭和病院 院長)

主催:一般社団法人日本慢性期医療協会
〒162-0067 東京都新宿区富久町11-5 シャトレ市ヶ谷2階
運営事務局:第31回日本慢性期医療学会 運営事務局 日本コンベンションサービス株式会社 関西支社
〒541-0042 大阪市中央区今橋4-4-7 京阪神淀屋橋ビル2階
TEL:06-6221-5933 E-mail:jamcf31@convention.co.jp

<https://site2.convention.co.jp/jamcf31/>

教育講演「疾患治療を効果的に進めるためのリハビリテーション」

石川 朗 神戸大学大学院保健研究科パブリックヘルス領域 教授

- 30年前「高齢者が肺炎になると寝たきりになる」と言われていた、そんな事はないと言いつづけた 元日本療養病床協会会長 木下毅
- ところが、コロナの治療後に食事が食べられず歩けなくなってしまう高齢者は多い

教育講演「疾患治療を効果的に進めるためのリハビリテーション」

- ポストコロナの時代、リハビリテーションの視点から肺炎に焦点を当てる
- 肺炎の予防と治療は高齢者医療の基本
- マルチモビリティやフレイルなどの課題を抱える高齢者に対する、疾病治療とケア・リハビリテーションに応用

一般演題 153題

- 予防に始まり回復期から慢性期・生活期まで幅広いステージに、
- 在宅から入院・入所まであらゆる場所で、
- 看護・介護やリハスタッフをはじめ多職種が行う、
- 慢性期リハビリテーションの実践

良質な慢性期医療がなければ
日本の医療は成り立たない